

男鹿真山伝承館：実演 なまはげ台帳の話：孫

この質問への答えは、ナマハゲの一人が突然差し出す帳面にあります。これは「ナマハゲ台帳」というもので、この一年神々が見てきたことがすべて記録されています。神々は近くの真山から村を見下ろし、どの子が泣いたり親の言うことをきかないか、どの村人が仕事を怠けているかを見ています。ナマハゲは家長に対し、どんなに真実を隠そうとしてもすべてわかっているのだと言い聞かせます。これにうろたえた主人は、急に用心深くなります。

ナマハゲは帳面をめくり、家長に孫のことを尋ね始めます。ナマハゲは、イチローというこの男の子は毎日学校には行っているが、同級生をからかっていつも問題を起こしていると指摘します。そして家では宿題をせずゲームをしていると言うのです。おじいさんは信じがたいという表情で、ゲームを終えたらちゃんと勉強しているとナマハゲに言いますが、その弁もむなしく帳面にはそうではない旨書かれています。動揺した家長は、孫が来年はもっと学校の勉強に集中し、遊びを減らすよう徹底すると約束します。